

## ■ 府民向け在宅医療パンフレットのご紹介



### 「はじめての在宅医療 ～成人編～」 (A4版26P)

今期の京都府医師会地域ケア委員会において「在宅医療」について知っていただくための府民向けパンフレットを作成いたしました。

関係団体にご協力いただき、お家で医療を受けるために必要な情報を一冊にまとめたものです。

府民の皆様、在宅医療に係る皆様にお役立ていただきたいと思います。是非、ご一読ください。

※送付ご希望の方は当センターまでご連絡ください。

## ■ <京都地域包括ケア推進機構> 府民向け ACP 推進リーフレットのご紹介

### ① リーフレット

### 「考えてみましょう『人生の終い仕度』と医療」

(A4版4P)

最期まで自分らしく生きるために、人生の最期に受けたい医療や、受けたくない医療等について、元気なうちから考え、家族や医療・介護関係者と話し合っておくことの大切さを知っていただくためのリーフレットです。



### ② リーフレット



### 「最期まで在宅で過ごすことを考える皆様へ」

(展開 A4サイズ巻三つ折)

最期まで自宅で過ごしたい、過ごさせてあげたいという希望を叶えるために、知っておいていただきたい大切な3つのポイントについて解説したリーフレットです。

#### <配布場所・配布方法>

- 1 京都府庁府民総合案内・相談センター、各府保健所、各市町村高齢者福祉担当窓口、各地域包括支援センターで無料配布
- 2 医療・看護・介護関係者等から対象となる御家族等へ配布。希望者へは京都地域包括ケア推進機構からも配布

※リーフレットの内容は京都地域包括ケア推進機構ホームページからご覧いただけます。

<http://www.kyoto-houkatucare.org/mitori/>

※送付を希望される場合は、京都地域包括ケア推進機構(電話:075-822-3562)まで御連絡ください。

診療報酬・介護報酬で質問があればお問合せください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階  
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

# 在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.17

2017年5月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター  
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。

## i Topix

- ◆平成28年度第4回京都在宅医療戦略会議開催報告
- ◆在宅医療研修会の開催報告
- ◆認知症研修会の開催報告
- ◆京都府民の皆様への啓発ツールのご紹介

京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～は、講師に専門医と認定看護師を迎え、在宅医療の現場のみならず、診療で役立つ講義と実習で学びを深める研修会です。

#### 平成28年度 第1・3・4回の様子



受講者の声

大変よい勉強になりました。褥瘡の評価、治療、DESIGN-R等。実習はとても良い経験でした。診療に生かしたいと思えます。

褥瘡について「ちゃん」と評価できていますか、治療の選択は？」をテーマに開催しました。

#### 平成28年度 第2回の様子



受講者の声

創傷に対する処置の基本、新しい素材の使い方を含め教えていただけてありがたかったです。

「よくあるケガ、皮膚疾患を在宅で治す」皮膚トラブルの対応と予防などテーマに開催しました。

#### 平成28年度 第5・6回の様子



受講者の声

びらのケアの仕方はとても役立つと思います。なかなか患者さんに聞きにくいことで、知らない事ばかりで、とてもためになりました。患者さんに相談されたら、少しは力になりそうです。

人工肛門の管理・皮膚ケア「先生一人のときにつけられますか？」をテーマに開催しました。

## 平成29年度 京都在宅医療塾Ⅱ ～実践編～

開催いたします！  
是非、ご参加  
ください！

平成29年度は在宅におけるがん終末期の「疼痛緩和について」・「様々な症状への対応について」をテーマに木曜日と水曜日で開催いたします。

「疼痛緩和について」は6月15日(木)・7月19日(水)

「様々な症状への対応について」は8月10日(木)・9月20日(水)に開催します。

木曜日は18時から20時、水曜日は14時30分から16時30分です。

対象は医師：開業医、勤務医(病院・高齢者施設など)、研修医の方です。

在宅医療でお困りの先生、在宅医療に興味のある先生等…皆様の参加をお待ちしております。

詳細・お申込みについては順次京都医報、当センターのホームページでお知らせいたします。

夜間の木曜開催には保育ルームも設置いたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

## 平成28年度 第4回 京都在宅医療戦略会議 開催報告

平成29年3月15日(水)、第4回京都在宅医療戦略会議を開催し、22地区から23名の先生と、行政からは4名が参加されました。

冒頭、京都府医師会 北川 靖副会長より「京都府地域包括ケア構想」の策定が最終段階にある中、ビジョンの目標年次である2025年のさらにその先を見据えた地域包括ケアや在宅医療・介護提供体制を準備していくことが重要であり、来年度以降も継続的に各地区医師会の取組みを行っていただくよう協力を呼びかけました。

### 〈乙訓医師会 地域医療担当・佐藤 真人理事〉

#### 「乙訓医師会における医療介護を取り巻く状況と医師会の取組みについて」



乙訓医師会・佐藤 真人理事

佐藤氏はまず、乙訓地域の医療・介護施設数、救急医療体制、要介護等認定者数、訪問看護ステーションの状況を紹介し、看取りについて積極的な意見が多い事などの現状を紹介されました。

また、乙訓医師会については平成29年2月現在で会員数が240名と増加傾向であるのは、周

辺地域における新駅開発に伴う新規開業医の増加が要因とされました。続いて取組みについては、①「乙訓地域包括ケアシンポジウム」、②「もの忘れ検診」、③「乙訓在宅療養手帳」、④乙訓版リビングウィル「私の医療に対する希望」、⑤在宅療養に関するアンケートの内容等をそれぞれ紹介していただきました。

特に③「乙訓在宅療養手帳」については、乙訓地域で在宅療養を行っている方のおよそ9割に発行され、「在宅療養手帳委員会」では、手帳の活用だけに留まらず、多職種連携をいかに進めていくかの議論も活発に行われ、またITツールの「京あんしんネット」との併用も検討していくとの考えを述べられました。

講演の最後では、平成29年度から始まる介護予防・日常生活支援総合事業について、乙訓2市1町(長岡京市、向日市、大山崎町)と協議を行い、運動プログラムと入浴のサービス利用に

係る「医師の確認書」を作成したことを報告のうえ、様式を紹介していただきました。

### 〈京都府医師会 地域医療構想担当・城守 国斗理事〉

#### 「京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)について」

城守府医理事は、平成28年度中に京都府が策定する「京都府地域包括ケア構想」について、概要を述べた上で、京都府の特徴として、病床の機能分化だけでなく、医療・介護のシームレスな関係を構築することで地域包括ケアを確立したいとの考えから名称を「京都府地域包括ケア構想」としていると説明されました。将来の必要病床数の推計については、「病床を減らすものではなく、現時点における平成37年の医療需要の目安となるもの」と明記したうえで、各構想区域(二次医療圏)別には必要病床数の総数のみ示し、高度急性期から慢性期までの4機能別の病床数は具体的に示さず、幅を持たせた表現になっていることを説明されました。また今後の課題として、府内各地域における在宅医療・介護提供体制の整備と医療・介護人材の確保を挙げ、地区医師会には、特に前者について在宅医療の推進、多職種連携の推進、病診・診診連携の推進の調整役として、拠点機能が求められることを指摘されました。



城守 国斗府医理事

また平成29年度の予算について、京都府は、「手厚い医療・介護サービス提供体制の構築」として、在宅医療を支える仕組みにプラスした連携機能の強化支援を検討している事を明らかにされました。京都市からは平成28年夏に実施した在宅医療・介護連携推進の実態調査の結果より、連携拠点の整備の必要性が明らかになったことから、具体的な平成29年度のモデル事業として「在宅医療・介護連携支援センター(仮称)」を市内2カ所に開設予定であるとの説明がありました。



## 平成28年度 生活機能向上研修 排泄支援 part 南部会場 開催報告

### グループワークの様子



井上医院  
井上 亘院長

### オムツ再考の様子



排泄用具の情報館  
むつき庵 浜田 きよ子代表

### 残尿測定の様子



NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会  
山口 昌子理事

平成29年2月25日(土)、京都府医師会館にて、井上医院 院長・井上 亘氏、NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会 理事・山口 昌子氏、排泄用具の情報館 むつき庵代表・浜田 きよ子氏の3名を講師に迎え、それぞれ「排泄支援イロハ」、「残尿からの排尿ケア」、「おむつ再考」について講演していただきました。医師19名、多職種27名の方が参加され、基礎講義の後に実技を行い、更にグループワークも行う事で、理解が深まったとのお声をたくさんいただきました。



発表の様子

## 認知症サポート医連絡会・認知症サポート医フォローアップ研修(南部会場) 開催報告

### 認知症サポート医連絡会



認知症サポート医連絡会では、地区医師会認知症担当理事・認知症サポート医、62名にご出席いただき、平成28年度の事業報告や京都市オレンジプランの進捗状況、改正道路交通法施行について報告されました。

この中の改正道路交通法の施行について、京都府警の担当者から現状の報告がなされ、府医認知症対策担当の西村理事からは、日医発行の「かかりつけ医向け診断書作成の手引き」の取扱いについて説明されました。

その後、平成29年度の各種研修会の実施や、認知症サポート医養成研修受講者の推薦、サポート医連絡会のあり方などについて協議され、平成29年度に向け準備が進められました。

### ● 受講者のご意見 (参加者アンケートより抜粋) ●

#### (疾病について)

- ・認知症と血管病変の強い関連性とその裏付けデータについて学べた
- ・認知症に対する治療管理の重要性を改めて実感できた
- ・認知症と生活習慣病との関連について再確認できた

#### (連携等について)

- ・開業医の役割の重要性がよく理解できた
- ・グループディスカッションにて他の先生方も同じような事を問題として感じておられる事がわかった

### 認知症サポート医フォローアップ研修会



国立循環器病研究センター病院  
脳神経内科 部長・猪原 匡史氏

引き続き開催した、認知症サポート医フォローアップ研修(南部会場)では、「脳卒中後認知症とアルツハイマー病」について、国立循環器病研究センター病院 脳神経内科部長・猪原 匡史氏にご講演いただきました。アンケート結果からも判るように認知症予防、進行抑制への取組みや治療管理の重要性について学べ、参加者から大変ご好評をいただきました。

その後、京都市高齢サポート洛東のセンター長、河原 祥代氏から、地域包括支援センターの取組み状況について、ご報告いただいた内容を基に、各地域における活動状況や問題点についてグループディスカッションを実施し、活発な意見交換が行われました。

また、認知症サポート医からは、竹上内科クリニック 院長の竹上 徹氏より「外来から在宅へ移行した症例について」、むらた医院 院長・村田 真二氏より「幻聴を呈した認知症の2例」について症例発表されました。

その後、会場から多くのご意見・ご質問などをいただき関心の高さを伺うことができました。